

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成25年8月12日(月)～8月18日(日)【平成25年第33週】の感染症発生状況

第33週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎 でした。

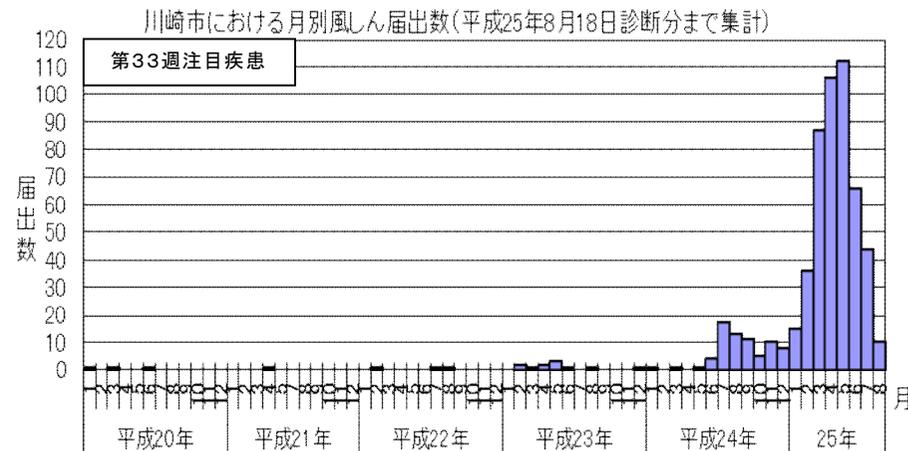
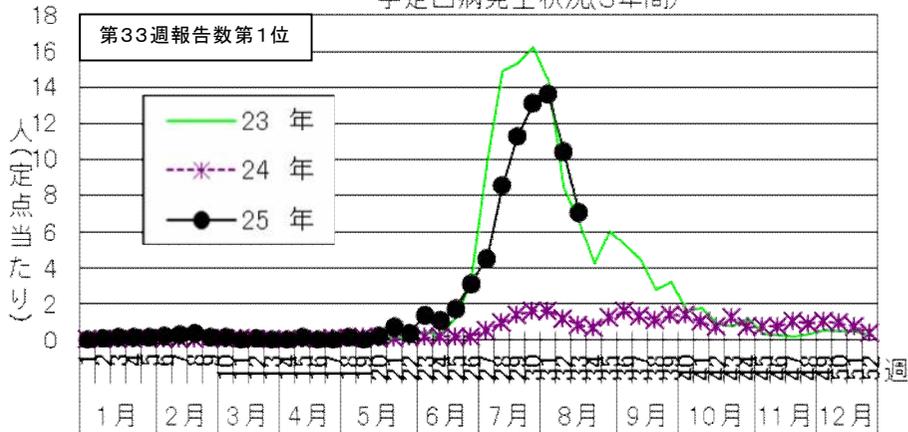
手足口病は定点当たり7.05人と前週(10.41)より患者報告数は減少しましたが、流行発生警報基準値(定点当たり5人)を超え、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナは定点当たり2.52人と前週(2.94)より報告数は減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。

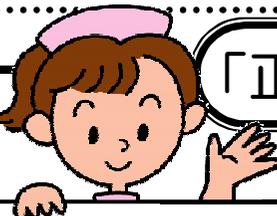
第33週については、お盆休みが重なり、多くの医療機関が休診であったため、全体的に患者報告数が少ない状況となっています。



手足口病発生状況(3年間)



「正しい手洗い」を実践していますか??



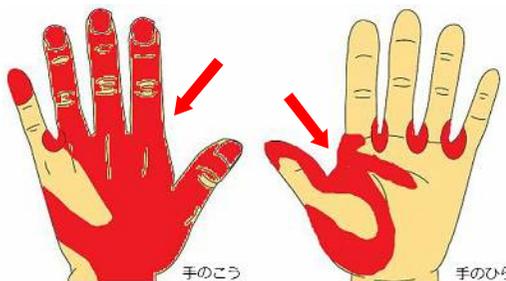
こんなとき、手を洗いましょう!

- ①帰宅時
- ②トイレの後
- ③食品を取り扱う時
- ④食事の前
- ⑤咳やくしゃみを手で押さえた後
- ⑥オムツ交換時 など



※手洗いの際には、指輪などのアクセサリー類を外しましょう。

【注意!】洗い残しやすい場所



まだまだ暑い日が続き、腸管出血性大腸菌感染症などの食中毒には引き続き注意が必要です。最も基本的かつ効果的な予防対策は「正しい手洗い」です。

